

2013 年 7 月 12 日

「アフラックペアレンツハウス」利用者数が 10 万人を突破

～ 小児がん支援活動の一環として、社員・販売代理店が支え続けた 12 年 ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池 徹）では、小児がん支援の一環として運営する総合支援センター「アフラックペアレンツハウス※」の利用者数が、2013 年 6 月末時点で延べ 10 万人を突破しました。（下記グラフ参照）

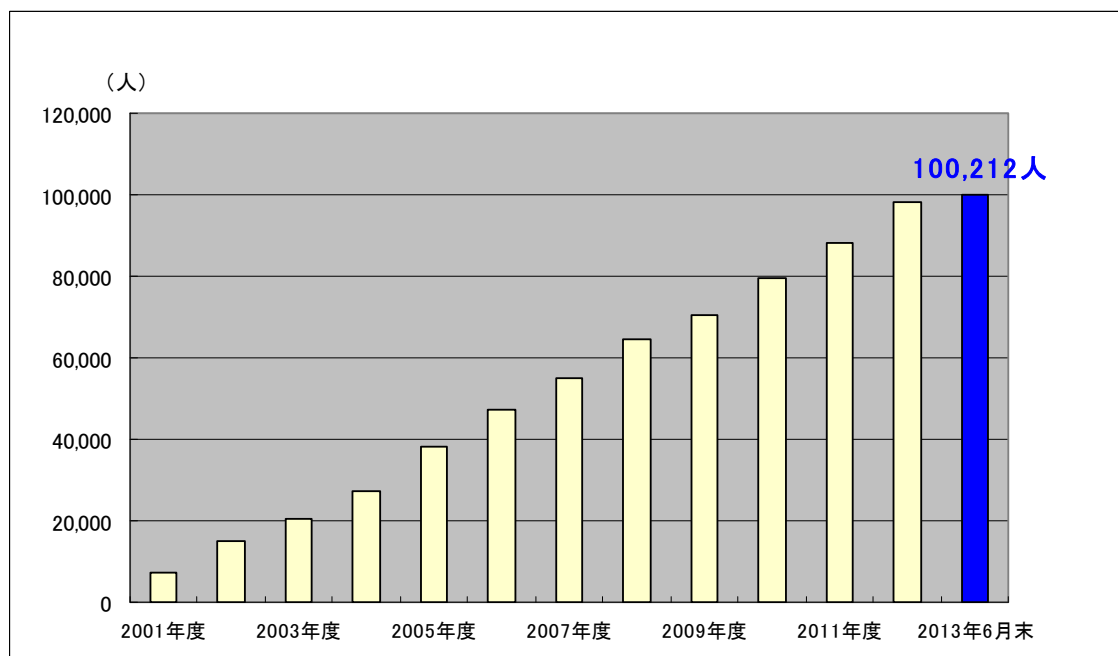
「アフラックペアレンツハウス」は、小児がんなどの難病のために遠隔地の自宅を離れ、大都市圏の専門病院で闘病する子どもたちとご家族の経済的・精神的負担を軽減することを目的とした総合支援センターで、ご家族は 1 人 1 泊 1,000 円（患児は無料）で、患児の治療期間中は日数の制限なく滞在できる施設です。なお、本施設は当社の保険契約の有無にかかわらず、どなたでも利用が可能です。（利用者の地域詳細は、別紙参照）

本施設は、2001 年 2 月に東京都亀戸（江東区）に 1 棟目がオープンしました。その後、2004 年 12 月に同浅草橋（台東区）、2010 年 1 月に大阪市（中央区）と、現在 3 棟が運営されており、年間約 1 億 3,000 万円にのぼる運営費は、当社、社員及びアソシエイツ（当社販売代理店）などの寄付によって、そのほとんどがまかなわれています。

※アフラックペアレンツハウス（http://www.aflac.co.jp/corp/mesena/mesena_kids_01.html）

■ アフラックペアレンツハウス 延べ利用者数※（2013 年 6 月末）

※1 人が 3 泊した場合、延べ利用者数は 3 人とカウント



当社はアフラックペアレンツハウスをはじめとして、「公益信託アフラックがん遺児奨学基金」や「ゴールドリボン運動」（小児がんに関する啓発活動）への支援など、これからも「がん・医療」をテーマとした社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

別 紙

【資料 1】

都道府県別 利用家族数（2013 年 6 月末）

※1 家族が 2 泊した場合でも、家族数は「1」とカウント

	総合計(利用家族数)
北海道	444
青森	265
岩手	198
宮城	300
秋田	141
山形	273
福島	355
茨城	502
栃木	289
群馬	382
埼玉	157
千葉	105
東京	221
神奈川	147
新潟	188
富山	71
石川	133
福井	108
山梨	88
長野	251
岐阜	174
静岡	249
愛知	310
三重	161
滋賀	135
京都	73
大阪	326
兵庫	231
奈良	80
和歌山	127
鳥取	123
島根	60
岡山	74
広島	223
山口	175
徳島	122
香川	176
愛媛	108
高知	64
福岡	142
佐賀	10
長崎	19
熊本	112
宮崎	101
大分	66
鹿児島	120
沖縄	315
(海外)	61
合計	8,555

【資料 2】

利用者からの感謝の メッセージ

子どもが病気で突然入院しなければならなかったため、このような施設は本当にありがたかったです。スタッフの方の気遣いも負担になることのない適度さで、気が滅入っている中、ゆっくりと過ごすことができました。本当にありがとうございました。

地方から出てきて、どこに泊まっていかわからず、気兼ねしながら知人の家に寄せてもらっていました。落ち着いてゆっくり眠れなかったため、疲れが溜まり、体調を崩してしまった時に、ペアレンツハウスを知り、利用させてもらいました。部屋がとてもきれいで、気持ちがよく、ゆっくり休むことが出来ました。本当にありがとうございました。

今回で 4 度目の利用ですが、ハウスマネージャーさんをはじめ、ボランティアスタッフの皆さまの温かい対応に我が家に戻ったかのようにホッとできます。生活に必要な備品がすべてそろっており、遠方から利用している私たちにとって大変助かります。また、子どもが小さいため、移動や宿泊の際も気を遣うことが非常に多いのですが、こちらの施設ではそうした面についても配慮があり、安心して利用できました。

【資料 3】 アフラックペアレンツハウス浅草橋と プレイルーム

